

(2) 資料の保存、管理

【平成 26 年度事業予定】

- ・良好な保存環境の維持に努め、収集資料の保存の万全を図る。
- ・収蔵庫の効率的な活用に努め、将来的な収蔵システムの在り方を検討する。

【平成 25 年度事業実績】

- ・例年の館内消毒に加え、特別収蔵庫の虫菌害予防のためのガス燻蒸を実施した。

(3) 展示事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。

名	称	開 催 期 間
第 24 回収蔵品展「暮らしと収納～今と比べる昔の収納具～」		平成 26 年 7 月 19 日～ 9 月 7 日
「平成 26 年新作名刀展」公益財団法人 日本美術刀剣保存協会と共催		平成 26 年 9 月 13 日～ 9 月 28 日
柳澤吉保没後 300 年記念特別展 「柳澤吉保とその時代－柳沢文庫伝来の品々を中心に－」		平成 26 年 10 月 18 日～ 12 月 1 日
第 25 回「むかしの勉強・むかしの遊び」展		平成 27 年 1 月 17 日～ 3 月 1 日
第 41 回企画展「古代入間郡の役所と道」		平成 27 年 3 月 28 日～ 5 月 10 日

【平成 25 年度事業実績】

- ・展示会開催回数 5 回 会期中の入館者数 53,034 人

(4) 教育普及事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・市民の要望に添った各種講座・講演会を開催するとともに、学校教育・社会教育への協力援助を行う。

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博物館歴史講座	① 4 月 19 日・26 日・5 月 10 日 ② 10 月 26 日・11 月 8 日・16 日 ③ 2 月 1 日・8 日・15 日 ④ 3 月 1 日・8 日・15 日	子ども博物館教室	① 6 月 14 日 ② 9 月 27 日 ③ 3 月 7 日
		子ども体験教室	毎月第2・第3土曜日を中心に実施
野外博物館教室	① 4 月 20 日・5 月 11 日 ② 7 月 13 日 ③ 10 月 18 日 ④ 11 月 1 日	夏休み子ども体験	① 7 月 24 日 ② 7 月 30 日 ③ 8 月 7 日 ④ 8 月 23 日
古文書講座	① 6 月 1 日・8 日・15 日 ② 9 月 21 日・28 日・10 月 12 日	夏休み遊びの時間	7 月 26 日・27 日
		講 演 会	① 4 月 12 日 ② 11 月 22 日 ③ 3 月 22 日
民俗芸能実演	11 月 3 日	博物館文化祭	12 月 6 日～ 12 月 14 日
土偶作り教室	1 月 31 日		

【平成 25 年度事業実績】

- ・各種講座開催回数 60 回 各種講座参加人数 3,691 人

幼・小・中・特別支援学校・高校・大学の利用状況（平成 25 年度）

平成 25 年度		博物館		川越城本丸御殿		蔵造り資料館	
項 目		園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数	園・学校数	利用者数
幼稚園	川越市内	1	77	0	0	0	0
	埼玉県内	0	0	0	0	0	0
	埼玉県外	0	0	0	0	0	0
	合 計	1	77	0	0	0	0
小学校	川越市内	73	6,816	7	318	8	624
	埼玉県内	103	8,860	45	3,777	92	7,785
	埼玉県外	6	480	6	448	6	305
	合 計	182	16,156	58	4,543	106	8,714
中学校	川越市内	4	523	4	523	4	523
	埼玉県内	55	7,071	58	7,161	55	6,729
	埼玉県外	60	7,264	62	7,486	64	7,509
	合 計	119	14,858	124	15,170	123	14,761
特別支援学校等	川越市内	5	87	0	0	0	0
	埼玉県内	8	140	7	103	4	40
	埼玉県外	5	128	6	144	6	144
	合 計	18	355	13	247	10	184
高校	川越市内	2	316	1	303	0	0
	埼玉県内	0	0	0	0	1	11
	埼玉県外	2	303	1	259	2	303
	合 計	4	619	2	562	3	314
大学	川越市内	8	182	6	134	5	125
	埼玉県内	2	126	1	105	1	105
	埼玉県外	5	208	0	0	1	96
	合 計	15	516	7	239	7	326
総 数		339	32,581	204	20,761	249	24,299



野外博物館教室
「古尾谷八幡神社修理見学」の様子



第 40 回企画展
「絵図で見る川越」の展示風景

(5) 蔵造り資料館耐震化事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・現況での一部解体作業を含む損朽及び耐震診断を行う。
- ・耐震化事業及びリニューアル後の利活用に関する検討を行う。

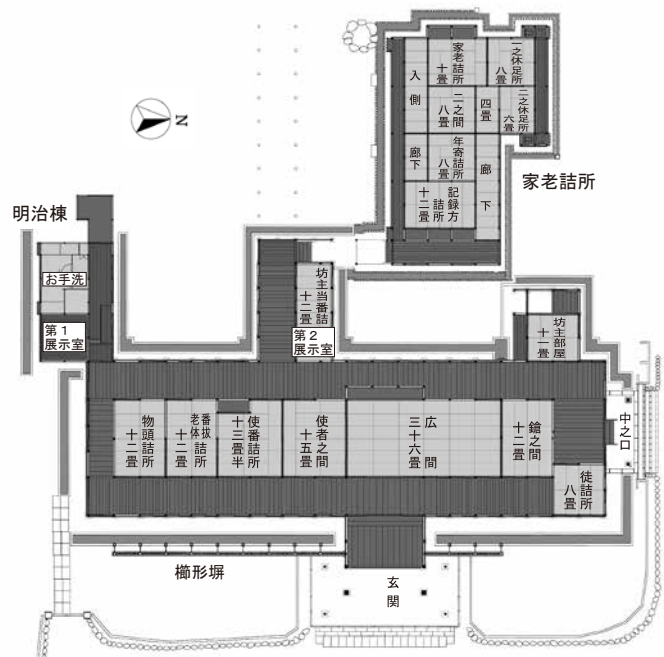
【平成 25 年度事業実績】

- ・耐震化事業推進に関する検討を行った。
- ・文化庁の視察対応を行った。

川越城本丸御殿概要



所在地…郭町2-13-1（電話 224-6015）
 敷地面積…2,178㎡
 延床面積…802.06㎡
 構造…木造平屋建
 建築年度…嘉永元年（1848年）
 展示資料…第1展示室は川越城本丸御殿保存修理工事に関する資料
 第2展示室は川越城の歴史に関する資料

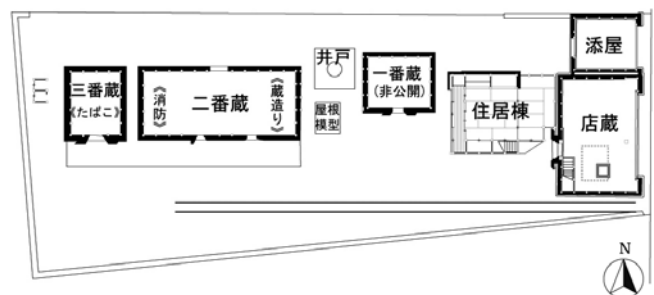


川越城本丸御殿の平面図

蔵造り資料館概要



所在地…幸町7-9（電話 225-4287）
 敷地面積…674.19㎡
 延床面積…322.57㎡
 構造…土蔵造2階建
 建築年度…明治26年（1893年）
 展示資料…二番蔵は蔵造りと消防に関する資料
 三番蔵はたばこ卸商万文ゆかりの資料



蔵造り資料館の平面図

学童保育

- ・昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立 32 小学校に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(平成 26. 4. 1 現在)

保育室名	設置年度	建物面積(㎡)	所 在 地	電 話	指導員数	在籍人数
川 越 第 一	昭和55	139.0	郭町1-21 小学校内	224-4134	4	76
川 越	昭和54	159.0	郭町1-1-1 ”	224-4755	5	58 (2)
中 央	昭和54	127.0	中原町1-25 ”	224-3999	4	59
仙 波	昭和54	278.4	富士見町4-1 ”	222-4877	5	90
武 蔵 野	昭和56	90.9	むさし野14-1 ”	242-6132	3	55
新 宿	昭和57	220.5	新宿町6-9-1 ”	242-6129	3	61
大 塚	昭和49	149.2	大塚2-10-1 ”	245-2552	5	59 (2)
泉	昭和56	110.1	小室463 ”	245-7232	4	69
月 越	昭和45	126.7	月吉町51 ”	224-6656	4	42 (2)
今 成	昭和53	106.4	今成2-42-1 ”	225-3747	3	39
芳 野	平成 6	120.7	鴨田331 ”	224-7976	3	29 (1)
古 谷	昭和55	151.0	古谷上5465 ”	235-4725	4	64
南 古 谷	昭和54	265.0	木野目1451 ”	235-1863	6	105 (1)
牛 子	昭和51	190.4	牛子418 ”	246-0741	8	105 (4)
高 階	昭和54	254.0	砂新田58 ”	244-6753	4	81 (2)
高 階 南	昭和49	167.4	諏訪町12-3 ”	244-4667	3	31 (2)
高 階 北	昭和50	209.5	砂新田1-16-1 ”	245-3906	8	78 (8)
高 階 西	昭和54	115.9	藤間1102 ”	244-6752	3	40 (1)
寺 尾	昭和52	125.4	寺尾979-2 ”	246-0740	3	43
福 原	昭和58	123.2	今福508 ”	246-0036	4	78
大 東 東	昭和52	124.6	豊田本1162 ”	244-9783	3	63
大 東 西	昭和50	132.5	山城32-5 ”	246-8780	5	86
霞 ケ 関	昭和54	243.5	笠幡177 ”	232-1328	6	80 (3)
霞 ケ 関 南	昭和50	222.9	かすみ野1-1-4 ”	232-7070	3	27
霞 ケ 関 北	昭和48	232.2	伊勢原町5-1-1 ”	232-5253	5	91
霞 ケ 関 東	昭和53	99.0	的場2735-2 ”	232-7959	3	44
霞 ケ 関 西	昭和52	122.0	笠幡3971-4 ”	232-5508	5	83 (2)
川 越 西	昭和59	126.0	川鶴1-5 ”	232-5601	3	59
名 細	昭和51	171.9	小堤214 ”	232-4519	8	80 (7)
上 戸	昭和51	134.0	上戸390-1 ”	232-4518	3	56
広 谷	昭和56	126.0	下広谷558-1 ”	233-4790	3	34
山 田	昭和54	165.0	山田167 ”	222-4151	4	72
計					137	2,037 (37)

() は障害児

1. 文化財保護課 Tel:049-224-6097 E-mail:bunkazai@city.kawagoe.saitama.jp

(1) 文化財の保護と活用

① 文化財補助事業

【平成 26 年度事業予定】

- ・川越市には、国・県・市指定文化財等が 257 件あり、これらの保存を目的に補助金を支出している。

【平成 25 年度事業実績】

- ・無形民俗文化財の後継者育成等 15 件
- ・建造物等の防災設備保守等 9 件
- ・有形文化財の保存修理、史跡・天然記念物の保存 17 件
- ・団体の育成 2 件
- ・時の鐘耐震化事業（耐震診断）

② 新指定・追加指定文化財

【平成 26 年度事業予定】

- ・指定文化財の保存と活用に努める。また、各種文化財の調査を進める。

【平成 25 年度事業実績】

- ・埼玉県立川越女子高等学校明治記念館（有形文化財・建造物）1 件を市の新指定文化財として指定した。また、県指定文化財（有形文化財・古文書）として、喜多院日鑑（喜多院所蔵 8 冊、川越市所蔵 1 冊）が追加指定となった。

③ 文化財防火訓練

【平成 26 年度事業予定】

- ・毎年 1 月 26 日は、「文化財防火デー」となっている。これは昭和 24 年の法隆寺金堂壁画の焼失を機に定められた日で、文化財を火災や震災等の災害から守ることを目標としている。川越市でも、この日に合わせて文化財防火訓練を実施し、文化財保護の意識の高揚を図っており、喜多院・東照宮・日枝神社を会場として川越地区消防組合等と共催で、防火訓練を実施している。

【平成 25 年度事業実績】

第 56 回 川越市文化財防火訓練

- ・実施日 平成 26 年 1 月 23 日
- ・出動消防車両 10 台（はしご車 2 台、化学車 1 台等）
- ・参加者数 113 人

④ 文化財登録制度（登録文化財）

【平成 26 年度事業予定】

- ・この登録制度は、指定制度を補完する制度である。保護対象の登録及び登録物件に関する届出制と、それに対する指導・助言・勧告を基本とする緩やかな保護措置を講じる制度である。なお、平成 16 年の法改正で、建造物以外の有形文化財と有形民俗文化財、記念物の登録制度が創設されている。
- ・川越市内では、埼玉りそな銀行川越支店（旧八十五銀行本店本館）が、埼玉県では最初の登録有形文化財となったのをはじめ、旧山崎氏別邸庭園が登録記念物として文化財登録原簿に登録され、現在までに 11 件を数えている。

【平成 25 年度事業実績】

- ・登録有形文化財候補として、脇田町八幡通り沿いに立地する三重家住宅の調査を実施し、平成 26 年 2 月に文化庁へ登録申請を行った。
- ・三重家住宅は、棟札から昭和 6 年（1931）に上棟されたことが明らかであり、平屋の主屋・門・庭園という武家住宅の伝統を継承しつつ近代和風建築の特徴を有する住宅である。

⑤ 埋蔵文化財

【平成 26 年度事業予定】

- ・川越市内では、現在 345 か所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらは、国・県の指導のもと、詳細な分布調査を行い設定されたものである。こうした埋蔵文化財包蔵地の範囲内で開発行為を行う場合は、工事に先立って埋蔵文化財の存否を確認する試掘調査が必要である。試掘調査により、埋蔵文化財の存在が確認された場合、開発者との間で遺構の保存について協議し、どうしても破壊を免れないものについては、遺跡の姿を記録保存し後世に伝えるため発掘調査を実施する。

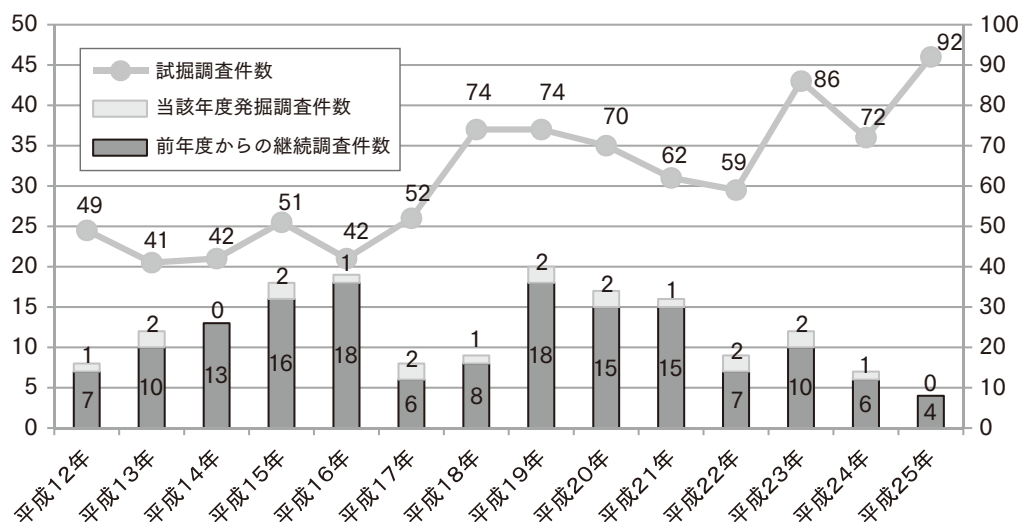
【平成 25 年度事業実績】

92 件の試掘調査及び 4 件の発掘調査を実施した。以下にその成果の一部を紹介する。

- ・弁天西遺跡（仙波町）第 19 次調査では、奈良～平安時代の住居跡 6 軒、中世の堀跡 1 条、溝跡 3 条が検出した。住居跡からは須恵器・土師器、鉄製刀子などが出土している。堀跡は幅約 6 m、深さ 1.8 m ほどの規模で 3 条の溝跡と平行することから同時期に存在したものと考えられる。
- ・山王脇遺跡（豊田町）第 13 次調査は、全国最大級の上円下方墳である山王塚古墳の東側に隣接した地点での発掘調査で、山王塚古墳の周囲に巡る堀の南東のコーナー部が発見された。
- ・日枝神社遺跡（上戸）第 4 次調査では、古墳時代前期の住居跡 1 軒を検出した。住居跡は柱穴のほか 2 基の炉と貯蔵穴を伴う。床面や貯蔵穴からは土師器台付甕・高坏などが出土した。
- ・八幡前・若宮遺跡（的場）第 4 次調査では、奈良時代の住居跡 1 軒を検出した。住居の北側には長い煙道をもつかまどが良好な状態で遺存していた。住居内からは土師器の小破片がわずかに出土した。

以上のように、平成 25 年度の調査では地域の歴史を物語る多くの遺構・遺物が出土している。

試掘調査・発掘調査の状況



⑥ 関係団体との連携

【平成 26 年度事業予定】

- ・文化財保護の意識の高揚、伝統芸能の保存育成を目的とし、埼玉県文化財保護協会、川越市文化財保護協会、各民俗芸能保存団体等と連携して、各事業の実施や援助を行っている。

【平成 25 年度実績】

- ・川越市文化財保護協会実施事業の文化財講座（2 回）、文化財見学会（2 回）、市内文化財巡り、会報の発行等の事務援助を行った。また、鯨井の万作保存会と連携し、河越流鎗馬（11 月 16 日実施）のなかで民俗芸能の披露を行った。

管理施設

施設名	山車集中保管庫	時の鐘	永島家住宅 (旧武家屋敷)	国指定史跡 河越館跡史跡公園	川越城跡 中ノ門堀跡
所在地	郭町2-25-12	幸町15-7	三久保町5-3	上戸192-1他	郭町1-8-6
敷地面積	1,071.80㎡	52.89㎡	1,184.62㎡	12,172㎡	1,078.56㎡
構造	鉄筋コンクリート造	木造 3 層	木造平屋	—	—
延床面積	270.90㎡	20.66㎡	177.94㎡	—	—
建築年	昭和45年(1970)	明治27年(1894)	—	—	—
指定年月日	—	昭和33年3月6日	平成18年3月27日	—	—
整備年	—	—	—	平成21年(2009)	平成22年(2010)
備考	—	—	建物の一部(31.41㎡) は個人所有	—	—

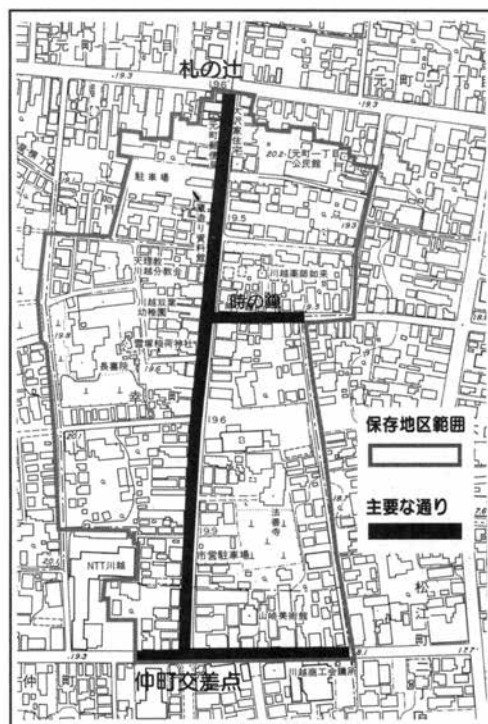
伝統的建造物群保存地区

川越市川越伝統的建造物群保存地区は、昭和 50 年の保存対策調査の後、平成 11 年 4 月に都市計画決定を行い、同年 12 月に国から重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けた。札の辻から仲町交差点までの南北約 430m、東西約 200m、面積約 7.8ha である。

地区内には、重要文化財大沢家住宅や、本市のシンボル「時の鐘」のほか、明治 26 年の大火後に建てられた蔵造り商家群を筆頭に、大正昭和初期に建てられた近代洋風建築や看板建築など、各時代の特徴を表すさまざまな建築様式が伝えられており、我が国の都市建築の発展をうかがわせる貴重な町並みである。

更に、市民が主体的にまちづくりに取り組んでいることも高い評価を得ている。

平成 25 年度は、新たに 4 件の伝統的建造物を特定した。その結果、特定物件の合計は 122 件となった。また、保存事業として、伝統的建造物の修理 5 件（通常 4 件、災害復旧修理 1 件）、応急修理 6 件、景観事業 4 件、合計 15 件の補助事業を行った。



川越市川越伝統的
建造物群保存地区の範囲

指定文化財一覧

国指定文化財			県指定文化財			市指定文化財		
種	別	件	種	別	件	種	別	件
重要文化財	建造物	4	有形文化財	建造物	9	有形文化財	建造物	48
	絵画	2		絵画	2		絵画	1
	工芸品	4		彫刻	2		彫刻	12
	書籍・典籍・古文書	1		工芸品	3		工芸品	20
	無形民俗文化財	1		書籍・典籍・古文書	6		書籍・典籍・古文書	27
記念物	史跡	1		考古資料	1		考古資料	7
指定文化財計		13		歴史資料	1		歴史資料	5
			民俗文化財	有形民俗文化財	1	民俗文化財	有形民俗文化財	20
重要伝統的建造物群保存地区	1			無形民俗文化財	6		無形民俗文化財	11
重要美術品	2		記念物	史跡	3	記念物	史跡	32
登録有形文化財	10			天然記念物	1		天然記念物	8
登録記念物	1			旧跡	4			
計		27	計		39	計		191
総計			257 件					

出版物

「川越建物細見」をはじめとしたパンフレット及び書籍・地図を発行し、市民の文化財保護に対する認識を高める手段として活用されている。なお書籍・地図については有償にて頒布しており、文化財保護課の他に、市立博物館、川越まつり会館でも入手できる。

パンフレット	川越市の歴史年表
	川越建物細見
	国指定史跡河越館跡
	川越市指定文化財時の鐘
	川越の祭りと芸能
	国指定史跡河越館跡史跡公園
	川越城中ノ門堀跡
	市指定文化財旧山崎家別邸
	市指定史跡永島家住宅（旧武家屋敷）

書籍・地図	川越市の文化財
	ハンドブック 川越の歴史
	川越の伝説
	続川越の伝説
	川越の人物誌 第1集
	川越の人物誌 第2集
	川越の人物誌 第3集 女性編
	川越氷川祭りの山車行事調査報告書
	川越市文化財散策マップ
	川越の民俗調査報告書第1集 福原・南古谷地区の民俗
	川越市指定文化財 旧山崎家別邸調査報告書
	元町二丁目井上家文書目録
	川越市山田地区民具調査報告書 鹿倉家の民具
	川越の神社建築
	川越の寺院建築

新指定・追加指定文化財

市指定文化財（新指定）

さいたまけんりつかわごえじょ しこうとうがっこうめいじ きねんかん

埼玉県立川越女子高等学校明治記念館（有形文化財・建造物 平成26年3月25日指定）

埼玉県立川越女子高等学校明治記念館は、明治44年（1911）川越高等女学校が町立から県立に移管されたことに伴い現在地に建設された校舎の一部である。創立当時の校舎配置図によれば、さまざまな校舎が渡り廊下で連結される形式を採用しており、そのうちの一棟であったことが分かる。

建築年代は、明治 45 年（1912）6 月 30 日であり、明治期の建築物として貴重な遺構である。

外観は切妻造棧瓦葺平屋建の細長い形式で、全体が横羽目板張の質素なものだが、ほぼ中央には切妻屋根平入りの玄関が南北に設けられていた。二つの玄関はほかの校舎と連絡する渡り廊下の出入口であり建物にアクセントを与える要素となっている。また、屋根には六角形の排気用尖塔が設置され、教会建築を思わせるゴシック風な趣も見せている。平面としては、二つの玄関を結ぶ建物中央を境に西側を洋室、東側を和室とに分けている点が特徴である。この点に合わせて南側立面では洋室側に上げ下げ窓、和室側に縁側に沿って引違いガラス戸を配している。北側立面は、片側廊下形式を採用しているため上げ下げ窓で統一させている。以上のように、川越女子高等学校明治記念館は明治末期の貴重な学校建築物としての特徴を有している。また、県内において明治期の学校建築物を現在も生徒が使用し続けながら保存・活用されている稀有な例であり、在校の生徒が「生きた文化財」としてこの建物を体感できる教材として大きな教育的効果を生み出すことから川越市の文化財として保存すべきものである。



埼玉県立川越女子高等学校明治記念館

県指定文化財（追加指定）

き たいんにつかん
喜多院日鑑（有形文化財・古文書 平成 26 年 3 月 11 日追加指定）

「喜多院日鑑」は、星野山無量寿寺喜多院の寺務記録である。江戸時代中期から明治時代初期にかけてのまとまった日鑑であり、県内では類例が少ない。天台宗の有力寺院である喜多院をとりまく宗教的・歴史的状況を伝える史料として貴重なものである。これまで、宝暦 8 年（1758）～明治 3 年（1870）の記録が確認されている。明治期に多くが流出したが、返還されるなどにより喜多院が 90 冊、川越市が 8 冊を所蔵していた。いずれも、平成 12 年 3 月 17 日に県指定有形文化財（古文書）として指定されている。このたび、追加指定となったものは、平成 22 年の川越市教育委員会による市内の古文書調査の際に確認され、「喜多院日鑑」の一部であることが判明した現喜多院所蔵分 8 冊と川越市所有で以前より喜多院に貸与されていたが、巻上・下を欠き部分的であったために先の指定時には対象外とされた川越市所蔵分 1 冊である。

追加指定された 8 冊および 1 冊の内訳は、次のとおりである。

喜多院所蔵分 8 冊

- 「僧正応対進退年中行事 壺冊」 四十□世喜多院僧正正□
- 「星野山知事録條簡 下 三冊之内」 仙波本院知事部屋附
- 「御供所年中行事下書」
- 「年中行事」
- 「高松院舜栄堅義一件并御道具類質物取戻川越往復附掛合之者取捌方記」
- 「(日記書抜)」(※表紙欠)
- 「知事録」
- 「(喜多院諸届控)」(※表紙欠)

川越市所蔵分 1 冊

- 「星野山知事録條簡 中」(明和 9 年（1772）～寛政 3 年（1791）



「星野山知事録條簡

下 三冊之内」

仙波本院知事部屋附

国指定史跡「河越館跡」

市内上戸・鯨井地区にある河越館跡は、鎌倉～南北朝時代に活躍した武蔵武士河越氏の館跡であり、昭和59年12月6日に国の指定史跡となっている。指定地の面積は、48,509.18㎡である。

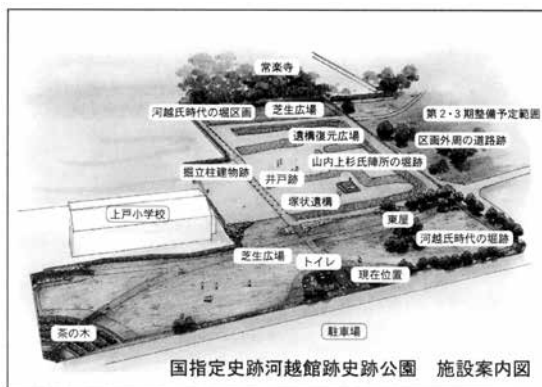
川越市はこの館跡の整備を進めるにあたり、昭和61年度に「史跡河越館跡保存管理基本計画」を策定。続いて、平成12年度には「河越館跡整備基本計画」を策定した。現在は、これらの計画に基づき整備事業を行っている。整備事業に当たっては国・県の補助を受けつつ土地を公有地化、遺構確認のための発掘調査を行い、その成果に基づき整備内容を検討、整備工事を実施している。

土地は、現在、公有地化予定面積の約93%を取得している。発掘調査は、歴史研究者による調査指導委員会の指導・助言を受けながら現在までに16回実施した。具体的な整備内容の検討は、歴史・建築・造園などの専門家から成る整備検討委員会によって進められ、平成17年度に「河越館跡史跡整備基本設計」を策定。続いて、平成19年度には「河越館跡（第1期）史跡整備実施設計」を策定した。この実施設計に基づき平成19年度から平成21年度まで河越館跡（第1期）史跡整備工事を実施した。

そして、第1期史跡整備工事完了後の平成21年11月15日に「国指定史跡河越館跡史跡公園」を開園した。この公園は、次世代に伝えるべき貴重な史跡である河越館跡の保存を図るとともに郷土学習の場、市民の憩いの場として有効な活用を目指すことを目的とする。全体が「史跡の広場」「茶太郎広場」の2つにゾーニングされ、「史跡の広場」では、河越氏時代の遺構を復元表示、「茶太郎広場」には、広々とした芝生の広場の一面に中世の銘茶「河越茶」に因んだお茶の木が植栽されている。

河越館跡の活用事業として平成25年度は公民館講座等での現地案内や小学校への出前授業を行った。また、11月16日に実施した河越流鏑馬実行委員会による「河越流鏑馬」では3,200人の方に来場いただいた。

平成26年度は、活用事業を充実させるとともに、発掘調査の成果を報告書として刊行し第2期整備へ向けての準備を進める予定である。



市指定史跡「永島家住宅（旧武家屋敷）」

永島家住宅は、川越城南大手門近くの侍町であった南久保町（現三久保町の一部）の一角に構えられた武家屋敷である。古文書や絵図資料から、その武家屋敷に住んでいた武士は、松平大和守家時代には250石から350石、最後の松平周防守家時代には110石の武士が住んでいたことがわかっている。また、特に御典医の居住が知られ、周防守家の石原昌廼は、30人ほどからなる藩医の筆頭の立場にあったことがわかっている。

平成18年3月に市指定文化財に指定され、平成24年3月より庭園の一般公開を行っている。

【平成25年度 見学者数】 毎月第3土曜日 9:00～16:00 公開

公開月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
見学者数（人）	96	85	48	101	21	68	384	103	50	51	—	224	1,231

1※10月20日（日）川越まつりに伴う特別公開、3月29日（土）春まつりに伴う特別公開の見学者数を含む。

2※2月の公開は大雪の影響により中止。



◇資料 目次

○教育委員会事務局組織の改正	73
○委員会等一覧	74
○歴代教育委員会委員長	75
○歴代教育長	75
○歴代教育委員会委員	75
○教育施設配置図	76
○市立学校一覧	77
○市立学校施設の現況	79
○児童生徒数と今後の推移	83
○小・中・特別支援学校教職員の数	85
○高等学校教職員の数	85
○私立幼稚園一覧	86
○私立幼稚園数・園児数・学級数の推移	86

資料編

教育委員会事務局組織の改正

昭和27年11月	教育委員会事務局設置、総務課、学校教育課、社会教育課
昭和33年 5 月	係の新設 総 務 課……庶務係、経理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係
昭和38年10月	保健体育課の新設 総 務 課……庶務係、管理係 学校教育課……学務係、指導係 社会教育課……社会教育係、社会体育係 保健体育課……保健係、体育係
昭和43年11月	学校給食企画課の新設 学校給食企画課……調査企画係
昭和44年 8 月	学校給食センターの設置 学校給食企画課の廃止
昭和49年 7 月	社会教育課に 2 係新設 社会教育課……同和教育係、文化財係
昭和52年 8 月	学校給食課の新設 学校給食課……庶務係、管理係
昭和56年 8 月	総務課に 1 係新設 総 務 課……施設係
昭和58年 4 月	教育次長 2 人制となる
平成元年 7 月	2 部 5 課12係となる 管 理 部……総 務 課 庶務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係 指 導 部……学校教育課 学務係、指導係 社会教育課 社会教育係、同和教育係、文化財係 保健体育課 保健係、体育係、給食係
平成 6 年 4 月	2 部 6 課15係となる 管 理 部……教育総務課 総務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係、学童保育係 保健体育課 保健係、社会体育係、給食係 指 導 部……学校教育課 学務係、指導係 生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 文化財保護課 管理係、調査係
平成 9 年 4 月	保健体育課給食係を第一学校給食センターへ移す（管理係として） 2 部 6 課14係となる
平成11年 4 月	2 部 7 課17係となる 生涯学習部……教育総務課 総務係、企画調整係 教育財務課 管理係、財務係、学童保育係 生涯学習課 生涯学習推進係、社会教育係、同和教育係 市民スポーツ課 スポーツ振興係、国体準備担当 文化財保護課 管理係、伝建地区担当、調査係 学校教育部……学校管理課 学務係、教職員係 教育指導課 指導係、保健係
平成13年 4 月	生涯学習部に国体推進室を新設 生涯学習部……国体推進室 国体推進担当

平成15年 4 月	生涯学習課に高階地区公共施設整備担当を新設、同和教育係を人権教育係とする 国体推進室の廃止
平成16年 4 月	生涯学習部に高階地区公共施設整備推進室を新設 生涯学習部……高階地区公共施設整備推進室 高階地区公共施設整備推進担当
平成18年 4 月	学校教育部に学校給食課を新設 学校教育部……学校給食課 管理係、学校給食費係
平成19年 4 月	生涯学習部を教育総務部に名称変更 係制を廃止し、グループ制を導入
平成20年 4 月	高階地区公共施設整備推進室の廃止
平成22年 4 月	教育総務部に地域教育支援課を新設 教育総務部……地域教育支援課 地域教育支援担当、人権教育担当 旧生涯学習課の事務は地域教育支援課と市長部局の文化振興課へ移管、旧市民スポーツ課 の事務は市長部局のスポーツ振興課へ移管
平成25年 4 月	教育指導課に生徒指導担当を新設、学校給食課に施設担当を新設

委員会等一覧

○川越市幼児教育振興審議会

委員…11人 任期…平成25年 7 月25日～平成27年 7 月24日

○川越市就学支援委員会

委員…15人 任期…平成26年 7 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市社会教育委員協議会

委員…21人 任期…平成25年10月 1 日～平成27年 9 月30日

○川越市人権教育推進協議会

委員…18人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市小堤集会所運営委員会

委員… 9 人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市公民館運営審議会

委員…23人 任期…平成25年 5 月22日～平成27年 5 月21日

○川越市文化財保護審議会

委員…12人 任期…平成25年 4 月 1 日～平成27年 3 月31日

○川越市立博物館協議会

委員…15人 任期…平成26年 6 月 5 日～平成28年 6 月 4 日

○川越市立図書館協議会

委員…14人 任期…平成25年 1 月17日～平成27年 1 月16日

○川越市立学校給食センター運営委員会

委員…15人 任期…平成25年 9 月 1 日～平成27年 8 月31日

歴代教育委員会委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
岸 憲 夫	S 27.10. 5	S 30. 4.22
佐々木 文 蔵	S 30. 5. 1	S 31. 9.30
竹 内 栄 吉	S 31.10. 1	S 39. 9.30
橋 村 尚 中	S 39.10. 1	S 40. 8.13
水 村 三 郎	S 40. 8.13	S 42.11.30
内 田 秀 夫	S 42.12. 1	S 44.11.30
佐々木 文 蔵	S 44.12. 1	S 45.10.12
内 田 秀 夫	S 45.11. 9	S 49. 4. 2
鈴 木 咸	S 49. 4. 3	S 49.12.20
鈴 木 咸	S 49.12.25	S 51. 4. 7
水 村 三 郎	S 51. 4. 8	S 62. 1.15
関 本 定 雄	S 62. 1.16	H 8. 7.27
采 澤 好 子	H 8.10. 4	H10.10. 3
佐久間 勇 次	H10.10. 4	H12. 9.30
齊 藤 信 子	H12.10.10	H18.12.27
伊 藤 幾 造	H19. 1. 5	H21. 3.31
星 野 明 徳	H21. 4. 1	H25. 3.31
梶 川 牧 子	H25. 4. 1	

歴代教育長

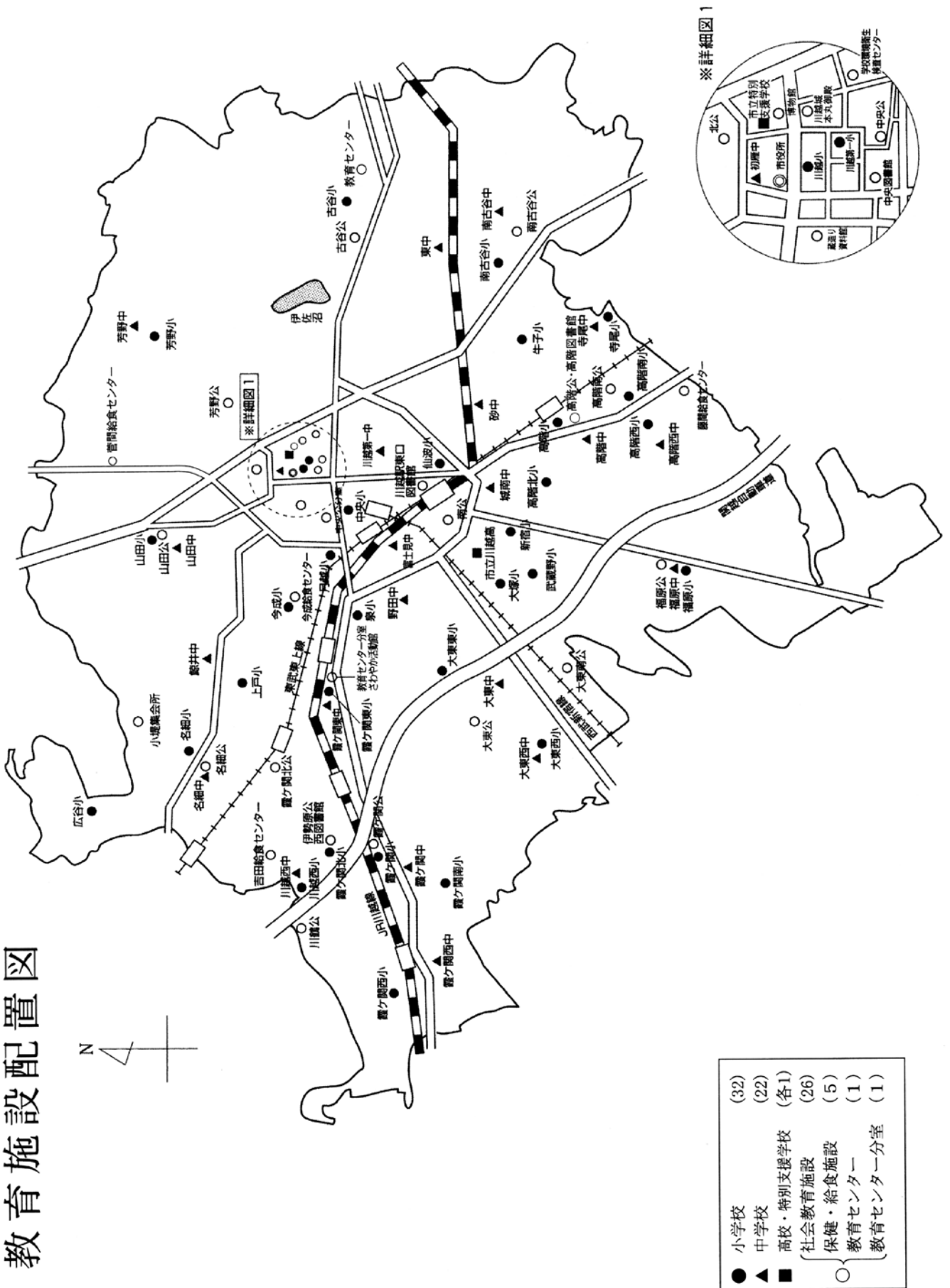
氏 名	就任年月日	退任年月日
江 原 四 郎	S 27.11. 1	S 32. 9.30
大 塚 仁之助	S 32.10. 1	S 35. 9.30
斎 藤 芳 一	S 35.10. 1	S 51. 9.30
斎 藤 芳 一	S 51.10.15	S 55.10. 5
村 田 和 男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31
大久原 秀 雄	H 7. 4. 1	H13. 3.31
星 野 明 徳	H13. 4. 1	H17. 3.31
山 浦 秀 男	H17. 4. 1	H21. 3.31
新 井 孝 次	H21. 4. 1	H25. 3.31
伊 藤 明	H25. 4. 1	

歴代教育委員会委員

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
岸 憲夫	S 27.10. 5	S 30. 4.22	
佐々木文蔵	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
橋本 正代	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
青山 四郎	S 27.10. 5	S 31. 9.30	
西川 卯八	S 27.10.28	S 29. 7. 1	議会選出
佐藤仲治郎	S 29. 7. 2	S 30. 4. 3	議会選出
須賀喜久治	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	市町村合併による
浜野 真平	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
新井 茂重	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
松本 正夫	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
石川 定彦	S 30. 4. 1	S 31. 7.14	〃
長谷 嶺宗	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
戸田 松雄	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
小林玉之助	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
加藤源四郎	S 30. 4. 1	S 31. 9.30	〃
岸野仁太郎	S 30. 5.19	S 31. 5.28	議会選出
金子 良雄	S 31. 5.28	S 31. 9.30	議会選出
竹内 栄吉	S 31.10. 1	S 39. 9.30	
仲 篤司	S 31.10. 1	S 34. 9.30	
橋村 尚中	S 31.10. 1	S 40. 8.13	
粕谷 武蔵	S 31.10. 1	S 32. 9.30	
粕谷 武蔵	S 32.11. 9	S 36.11. 8	
大塚仁之助	S 31.10. 1	S 35. 9.30	教育長
斎藤 芳一	S 35.10. 1	S 51. 9.30	教育長
内田 秀夫	S 38. 7. 8	S 50. 7. 7	
関口道之助	S 39.12.24	S 47.12.23	
水村 三郎	S 40. 4. 1	H 5. 3.31	
佐々木文蔵	S 41. 4. 7	S 45.10.12	
鈴木 咸	S 45.12.21	S 49.12.20	
岩田 正	S 47.12.28	S 55.12.27	

氏 名	就任年月日	退任年月日	備 考
鈴木 咸	S 49.12.25	S 51. 4. 7	
関本 定雄	S 50.12.25	S 54.12.24	
斎藤 芳一	S 51.10. 6	S 55.10. 5	教育長
田中 賢司	S 52.12.24	S 53.12.24	
田中 賢司	S 53.12.27	H 6.12.26	
関本 定雄	S 55. 7.28	H 8. 7.27	
岩田 正	S 56. 4. 1	H 8. 6.19	
村田 和男	S 56. 4. 1	H 7. 3.31	教育長
大久原秀雄	H 5. 4. 1	H13. 3.31	教育長
采澤 好子	H 6.12.27	H10.12.26	
岡安 道夫	H 7. 7. 1	H 9. 3.31	
伊藤 幾造	H 8.10. 1	H21. 3.31	
佐久間勇次	H 8.10. 1	H12. 9.30	
奥村 順一	H 9. 4. 1	H13. 3.31	
齊藤 信子	H10.12.28	H18.12.27	
長澤 仁志	H12.10. 1	H16. 9.30	
長澤 仁志	H17. 4. 1	H21. 3.31	
深井 英男	H13. 4. 1	H17. 3.31	
星野 明徳	H13. 4. 1	H17. 3.31	教育長
白倉喜美枝	H17. 4. 1	H21. 3.31	
山浦 秀男	H17. 4. 1	H21. 3.31	教育長
相馬 實	H18.12.28	H22.12.27	
星野 明徳	H21. 4. 1	H25. 3.31	
長谷川 均	H21. 4. 1		
後藤 佳子	H21. 4. 1	H25. 3.31	
新井 孝次	H21. 4. 1	H25. 3.31	教育長
梶川 牧子	H22.12.28		
原田 由美	H25. 4. 1		
長井 良憲	H25. 4. 1		
伊藤 明	H25. 4. 1		教育長

教育施設配置図



市立学校一覧

小 学 校

(平成 26. 5. 1 現在)

学校名	校長名	教頭名	教職員数			開校年	所在地	電話
			校長数	教員数	事務			
川越第一	金子正樹	阿形寿和	22	1	1	明治6年	郭町1-21	222-0308
川越	小池幸	福島みどり	26	1	1	明治6年	郭町1-1-1	222-0309
中央	加藤伸二	小金井幸則	20	1	1	明治7年	中原町1-25	222-0310
仙波	小俣仁司	吉田哲夫	29	1	1	明治27年	富士見町4-1	222-0195
武蔵野	鵜野一郎	新家子直之	24	1	1	昭和45年	むさし野14-1	242-1394
新宿	平岡健	小島仁	23	1	1	昭和57年	新宿町6-9-1	246-4227
大塚	浅見一広	宮島幸夫	21	1	1	昭和51年	大塚2-10-1	245-2929
泉	須田亮	平岩俊哉	20	1	1	明治7年	小室463	242-3119
月越	大久根正	中村美紀	18	1	1	昭和34年	月吉町51	222-2261
今成	齋藤清隆	新井啓太郎	16	1	1	昭和49年	今成2-42-1	224-3534
芳野	吉野和仁	大野晴代	16	1	1	明治6年	鴨田331	222-1264
古谷	高橋等	島田正人	23	1	1	明治7年	古谷上5465	235-0193
南古谷	谷川輝之	金井進	37	2	2	明治6年	木野目1451	235-2150
牛子	山上泉	井口修一	27	1	1	昭和52年	牛子418	245-6702
高階	田中巖	増尾政明	24	1	1	大正12年	砂新田58	242-0689
高階南	宮崎宣男	青木由美子	19	1	1	昭和45年	諏訪町12-3	242-7566
高階北	浅見由利子	久津間明	31	1	1	昭和48年	砂新田1-16-1	244-0988
高階西	天宮弘	高橋史和	19	1	1	昭和49年	藤間1102	243-6042
寺尾	岡野雅一	山田勇	18	1	1	昭和53年	寺尾979-2	245-9555
福原	栗田友季子	大山雅久	27	1	1	明治7年	今福508	243-4036
大東東	小林三千雄	勇達也	23	1	1	明治6年	豊田本1162	243-3105
大東西	小谷彰範	河内雅幸	24	1	1	明治7年	山城32-5	243-3910
霞ヶ関	山田直樹	野崎正行	26	1	1	明治6年	笠幡177	231-1303
霞ヶ関南	石野道子	村上重仁	12	1	1	昭和49年	かすみ野1-1-4	232-0395
霞ヶ関北	吉田一彦	菅田浩子	22	1	1	昭和44年	伊勢原町5-1-1	231-1968
霞ヶ関東	山口武士	時田正一	16	1	1	昭和50年	的場2735-2	232-4871
霞ヶ関西	太田康子	芳村一良	24	1	1	昭和53年	笠幡3971-4	232-8500
川越西	新井弘	佐藤洋	18	1	1	昭和58年	川鶴1-5	231-0181
名細	長谷川郁代	伊藤真	24	1	1	明治7年	小堤214	231-2216
上戸	宮崎洋子	馬橋泰雄	20	1	1	昭和51年	上戸390-1	232-7200
広谷	宮崎厚	原田正則	16	1	1	昭和56年	下広谷558-1	233-3941
山田	外村浩	藤田貴訓	24	1	1	明治8年	山田167	222-2042
計	32校		709	33	33			

※教職員数は教職員定数を表す。